

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第 5 分科会		
テーマ	経済・産業・観光		
開催日	平成 26 年 6 月 27 日	検討回数	第 4 回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

農業・林業の問題点と、その解決策について

2. 今回の討議した内容(報告)

農業について

<問題点>

農業は八街市の基幹産業であるが、農産物の価格の低迷や、農業従事者の減少・高齢化が進行している。

後継者問題。

耕作放棄地や遊休農地も増加しつつある。

<検討内容>

○耕作放棄地や遊休農地を、農業をやりたいという方に貸してはどうか

→農地を荒らすよりは、貸し出しをして、誰かに耕作をして欲しいという農家もいる

→市役所農政課において、貸し農園を借りたいという方に、貸し農園を案内している

→業として農地を借りたいという場合にも農政課で対応しているが、農業資格者でないと農地の貸し借りができない

→JAの不動産部門で農地を売りたいという相談を受けるが、広さの問題や、農業資格者でないと売買ができない。

○他市、他県から、農業をやってみたいという方を受け入れ、農業後継者として育成する試みはどうか

→農業研修生の受け入れもあったが、農地は財産であり、全てを他人に譲ることに抵抗がある

→農業研修を八街市で受けても、地元に戻り、農業を営むケースも考えられる

○観光農業・農業体験を推進し、農業者の作業の負担軽減を図る

→観光農園は大型バスを駐車できる駐車場や、トイレなどの整備ができておらず、大人数の受け入れが難しい。

○八街産野菜のブランド化及びPR

林業について

<問題点>

里山を整備することが望ましいが、荒れてしまうと重機などの大型機械が必要で、所有者での整備が難しい。

<検討内容>

○里山保全活動をしているNPO等と、整備を希望する山林所有者とのマッチングをする

3. 次回の検討方針

商業の問題点と、その解決策について